

1 調査の経過と結果

(1) 豊頃中学校改築工事に関連する事業の全体計画について

平成30年9月に豊頃町立学校校舎等建築検討委員会から町長及び教育委員会に提出された「豊頃町立学校校舎等の建築のあり方について」の報告書の意見を踏まえ、令和元年8月に策定した「豊頃町立豊頃中学校改築等に関する計画」により本事業が実施されている。本計画では、学校施設等のあり方として、将来的には小中一貫教育を効果的・効率的に実施できる学校施設整備を目指すとともに、周辺の環境整備等については「豊頃中学校は、豊頃小学校に併設する形で移転改築する」「豊頃小学校と併設した豊頃中学校の運用開始は令和5年4月を目指す」「移転改築後の豊頃中学校の敷地は、町営野球場や総合体育館などの社会体育施設を集約した運動公園ゾーンに位置付けるなど、今後、協議検討する」「幼・小・中の円滑な移行を考慮し、現豊頃小学校敷地周辺を文教ゾーンとすることを前



担当課からの説明聴取

提に、将来的な保育所のあり方や教員住宅の移転を検討する」としていた。

現段階における事業の進捗状況としては、豊頃中学校改築工事が令和5年2月に完成し、令和5年度に豊頃小学校の改修工事を、令和6年度には現在の豊頃中学校校舎の解体工事を実施する予定である。なお、事業費については、豊頃中学校改築工事関連が19億2,284万5千円、豊頃小学校改修工事関連が8億9,376万2千円、現豊頃中学校解体工事関連で1億8,510万4千円、その他基本設計及び各種調査等に2,9

74万7千円の事業費合計30億3,145万8千円となる見込みである。これら事業の財源としては国からの交付金8億8,666万円、国から7割の財政支援が受けられる過疎債などの借入が19億260万円、その他基金からの繰入金などの一般財源が2億4,219万8千円となっている。なお、現在の事業全体計画においては、運動公園ゾーンや文教ゾーンに関する事業は含まれておらず、それらについては今後の検討事項となっている。

(2) 豊頃小学校改修工事の具体的な内容について

- ① 工事期間 令和5年5月～令和6年2月
- ② 工事費 8億2,950万円
- ③ 工事内容
  - ア 建築主体工事
    - 校舎内全体の内装改修
    - 特別教室等の間仕切の変更
    - 外壁の外断熱化及びガルバリウム鋼板やタイル貼による耐久性の向上

(3) 工事に関連した児童生徒の移動について

令和5年5月から豊頃小学校校舎の改修工事を予定していることから、令和5年度は豊頃小学校児童が仮校舎での授業を余儀なくされ、豊頃小学校の児童は一時的に改築された新豊頃中学校校舎に移動して授業をすることになる。このため、豊頃中学校の生徒は、新

豊頃中学校校舎で授業をすることができるとは令和6年度以降となる。現時点での移動計画は、豊頃中学校新校舎完成が本年2月であるため、豊頃小学校の荷物引越業者に委託するなどして、3月下旬から入学式までに豊頃中学校の新校舎に小学校の機能を移転し授業を行えるよう準備を整え、豊頃小学校の児童は4月の入学式から豊頃中学校の新校舎で授業をすることになる。

また、令和6年4月の入学式以降は、改修後の豊頃小学校校舎及び新豊頃中学校校舎においてそれぞれに児童生徒が授業を行えるよう、豊頃小学校校舎の改修工事の完成が来年の2月下旬を予定していることから、改修工事後に豊頃小学校へ新たな備品等を搬入し、豊頃小学校の令和5年度卒業式が終了した後から令和6年4月の入学式までの間に、仮校舎にある豊頃小学校の荷物を改修後の豊頃小学校の校舎に引越業者を利用し移動するなどして小学校の機能を移転し、その後、豊頃小学校児童が仮校舎として使用していた教室を中学校仕様様に改修し、新豊頃中学校に新たな備品の搬入を行うなどして、中学校の機能を移転する計画となっている。



改築された校舎内（図書館）を見学

なお、工事の進捗状況や引越業者との調整、児童生徒の学校生活への影響等については児童生徒の移動計画を変更する場合もあるとしている。

(4) 旧豊頃中学校の跡地利用について

令和2年7月に作成した「豊頃中学校改築等工事基本設計」では、現豊頃中学校の跡地利用構想が示されており、茂岩高台の町営野球場の移設や将来的な総合体育館の改築用地とし、社会体育施設を集約した「運動公園ゾーン」に位置付けていた。しかし、令和3年度に改定した「豊頃町公共施設等総合管理計画」においては、新たに野球場や総合体育館を整備することから、計画的な修繕を施し長寿

命化を図り、既存施設をできる限り有効活用することとしている。豊頃中学校跡地については町全体の土地利用計画の中で改めて協議検討することが必要としている。

2 まとめ

本調査では、完成間近となった豊頃中学校改築工事現場の視察を含め、令和5年度に事業着手する豊頃小学校改修工事の事業内容など、「豊頃中学校改築等工事基本設計」に盛り込まれていた全体計画の進捗状況について調査を実施した。

概ね完成した新たな豊頃中学校校舎については、現地において工事関係者及び教育委員会職員から説明を受けたが、「豊頃中学校改築等工事基本設計」に盛り込まれた事項が十分に反映されており、また、基本設計後に発生した新型コロナウイルス感染症の予防対策

にも対応した校舎になっていた。豊頃小学校の改修工事については、社会情勢の急激な変動により工事に係る資材等が高騰し経費が大幅に増額され、工事費が基本計画からはかなり増額されていたが、当初計画における校舎改修の内容を概ね反映した工事内容となっていた。今後においては、現豊頃中学校校舎を解体した後の敷地全体の跡地利用及び解体しないこととした体育館の具体的な利用方法を早急に検討し示す必要があるのではないかとの意見が出された。

また、工事に係る児童生徒の移動については、児童生徒の学校生活への影響が無いよう最大限の配慮をすることにも、教職員の負担が過重とならないよう十分に協議し進めることが必要との意見も出された。



新築された体育館を見学